No.53

救急外来受診の手引き⑥

唱気、嘔吐編—

公立世羅中央病院院 長 末一属 眞二

(場合ではないで最も多く経験する症状が嘔気と嘔吐ではないでしょう) 特って気分が悪くなり嘔吐する、酒に というな原 に経験する症状です。このような原 に経験する症状です。このような原 に経験する症状です。このような原 に経験する症状です。このような原 に経験する症状です。このような原 に経験する症状です。このような原 に経験する症状です。このような原 と嘔吐する、発験する症状で、 といてしょう

ります。
ります。
ので、是非このような場合には遠慮ので、是非このような場合には遠慮ので、是非このような場合には遠慮ので、是非このような場合には遠慮ので、是非このような場合には遠慮のような場合には遠慮



①激しい嘔吐と下痢がある。

救急外来を受診してください。よっては入院の対象となりますのでれば点滴の必要性があり、場合に分も摂れないほどの激しい嘔吐であ分も摂れないほどの激しい嘔吐であ食中毒や細菌性あるいはウィルス

ような腹痛と嘔吐があるとき。②便は出ないが、間歇性の刺し込む

を何日か休める必要があり、入院しを何日か休める必要があり、入院して何本も点滴をしないといけませんので、救急外来を受診してください。 こともあり、緊急手術が必要であることもあります。 絶食にして腸



神経症状が出た。しゃべりにくい、見えにくいなどの③嘔気嘔吐とともに手足の麻痺や、

車を呼んでください。 急変することもありますので、救急脳内出血や脳梗塞が考えられます。

④突然嘔気嘔吐と激しい頭痛が出現

車を呼んでください。 急変することもありますので、救急合はクモ膜下出血が考えられます。 脳内出血と違って、痛みがある場



るような痛みが出た。 いっぱい り突然嘔気嘔吐と胸の締め付けられ

んでください。 ることもありますので、救急車を呼ることもありますので、救急車を呼

ら吐き気がある。 ⑥糖尿病が持病にあって、理由もな

ださい。 住まいの方は救急外来を受診してく睡に陥ることもありますので、一人睡に陥ることもありますので、一人

激しい持続性の腹痛が出現した。⑦不整脈があり、嘔気嘔吐とともに

外来を受診してください。 えられ、緊急手術が必要です。救急 稀ですが、腸間膜動脈血栓症が考

⑧嘔気とともに眼の痛みやかすみが

眼科救急を受診してください。急手術が必要なこともありますので、緑内障の悪化が考えられます。緊

診してください。 遅れにならないうちに救急外来を受は急変することもありますので、手足のしびれなどの症状を伴う場合に足のしびれなどの症状を伴う場合にっぽ気嘔吐の症状に腹痛や胸痛、手